



仁徳天皇陵を代表とする古墳群

<参加メンバー>

参加メンバー：5人（男性3人、女性2人） 天候：晴れ

<コースタイム> JR百舌鳥駅9：30～9：35百舌鳥古墳群ビジターセンター10：30～10：59方違神社～11：20反正天皇陵古墳～11：30堺市役所、21F展望ペーから古墳群を鳥瞰～12：40大仙公園(昼食)13：15～七観山古墳(復元)～13：40仁徳天皇陵古墳～14：00樋の谷～14：20ビジターセンター～JR百舌鳥駅

所要時間：約5H 距離(レンタサイクル)：約10km

<行動の概要>

上町台地は北端の大阪城から南へ高度を下げてきて住吉大社でいったん海辺レベルへ落ち込むが、再び南へ高度を上げていき台地となる。これが“我孫子台地”で標高20m程度。その台地上に4～5世紀頃に巨大古墳が数多く造られた。今回は台地の起伏を感じながら最大の仁徳天皇陵古墳など古墳巡りをレンタサイクルで楽しんだ。

スタートは百舌鳥古墳群ビジターセンター、ここでレンタサイクルを借りる(電動、ヘルメット付きで1000円也)。使い方をセンターの方から指導を受け各自の体に合うようサドルの高さを合わせセンター周辺で走行テスト、安全性を確認してから出発する。仁徳陵を左手に見ながら濠沿いを北へ、三国ヶ丘駅を過ぎけやき通りを北へ、道の両側にケヤキが植えてあり緑が心地よい。また自転車用レーンがあり比較的走りやすい。けやき通りの北端を左折すればすぐ方違神社。名前の由来は摂津、河内、和泉の三国の境にあるから。境内に三国ヶ丘の大きな石碑もある。

次に南へ進むと反正天皇陵古墳に出る。拝所で参拝をした。目の前の陵は木々に覆われた小山のよう。全体像はここからでは分からず説明版で想像するしかない。次に堺市役所21F展望ペーへ。ペーから見て東に先ほどの反正陵が眼下に、南には仁徳陵はじめ履中陵など多くの緑の小山(古墳)が見える。

その後もと来た道に戻り大仙公園へ。大きな公園内の木陰でゆっくりと昼食。緑陰が気持ちよい。昼食後はまず仁徳天皇陵へ、すぐ近くだ。ここでも拝所で参拝して案内人の方から説明を伺う。世界最大の墳墓を誇らしげに語っていた。大きいのは分かるが平面的なので全体の形は見えない。とてつもなく大きな土木建造物であるのは間違いない。1500年も前によくこんな巨大なものを造ったものだ。古代の土木技術はすごい。天皇の富と権力がいかに絶大であったか。最後に“樋の谷”へ。ここは古墳を囲む三重の濠の水が溢れた時の排水路だ、現在も使われている。濠の水は湧き水と雨水らしいが築造当時は9Km離れた狭山池から引いていたとされる。今はその水路は残っていないが。ここで行程の半分だが猛暑(32℃超)になってきたので今回はここで中断し残りは次回に回すことにした。なかなか面白い歴史サイクリングでした。(Gi)



最寄り駅は百舌鳥駅



まずビジターセンターへ、駅5分



ここで自転車を借りる



操作説明を受ける



これから出発



仁徳陵の濠沿いに北へ



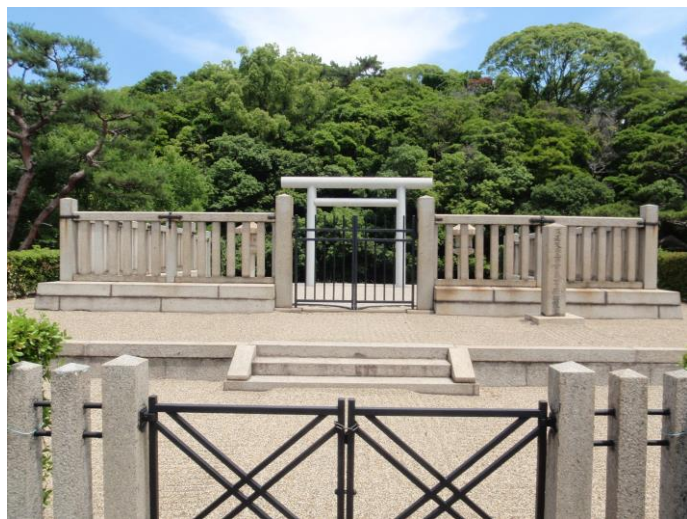
まず方違神社へ



方違神社境内



境内にある三国丘の石碑
摂津、河内、和泉の三国の境にある



反正天皇陵古墳拝所



墳丘長は148m



要所要所に標識あり



堺市役所 目指すは21F展望ロビー



21F展望ロビー

ガイドマップに記載されており分かりやすい



ロビーから仁徳陵(○印)を望む



案内員から説明を受ける



反正天皇陵を見下ろす



大仙公園の木陰で昼食



仁徳天皇陵 南北の長さは840m(墳丘長486m)世界最大ピラミッド、始皇帝陵と並び世界三大墳墓のひとつといわれる



仁徳天皇陵 上から見た図



仁徳天皇陵 拝所にて





復元された七観山古墳



樋の谷
(仁徳陵の濠の水の排水路、陵の西側にある)



最後はビジターセンターへ戻る



—— 前半ルート —— 後半ルート